

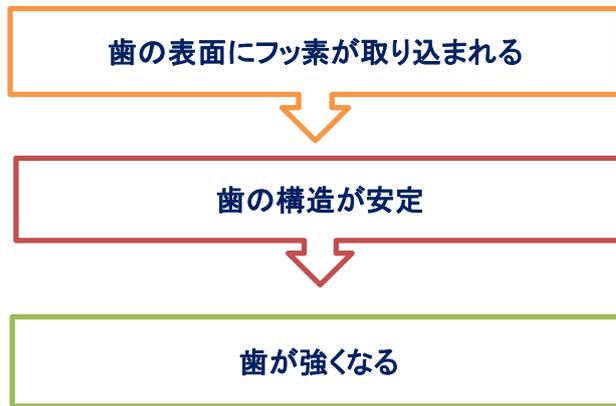
フッ素のすすめ

フッ素と聞いてみなさんは何を思い浮かべますか？
フライパン？車のコート剤？そうですね、フッ素はあらゆるところで活躍しています。

一体フッ素って何？

元素記号「F」土の中や水の中に含まれている
地球で17番目に多い元素です。

フッ素は(フッ化物)、酸にとけにくい、強い歯を作る働きがあり
歯科では**むし歯予防**で活躍しています。



特に生まれたばかりの歯は
フッ素を取り込みやすいので
チャンスです！！



また、初期虫歯の
再石灰化(はを元の状態に戻す)
の働きもあります。



☆個人差があります

すごいですね！
こんな素晴らしいものを使わない手はありません！！

ぜひ、一緒にフッ素を活用していきましょう。

さて、ではどのような方法があるのか見てみましょう。

- I. 洗口法 ご自宅で毎晩30秒のうがい
- II. 塗布法 歯科医院で塗る高濃度のフッ素
- III. ジェル・歯磨材 ハミガキの時間を利用して
- IV. スプレー法 うがいの出来ないお子様に

一体どれを使ったらいいの？　そうですね～迷いますよね。
こうかの高い順はI.～です。
でも、年齢、生活スタイル等で、続けられる一番良い形を
選ばれれば良いと思います。

ではここで当院での利用法・価格等をご紹介します。

- I. 洗口法 月～金(又は出勤日など)週5回、就寝前に
30秒うがいするだけ
日本で出来る1番効果の高いフッ素利用法！



初回ボトル代 300円 1か月分 200円

- II. 塗布法 歯科医院での塗布、うがいが出来ない方、忙しい方向き
歯質強化は年2～4回、再石灰化は年4～6回
効果としては2番目に高いです。

1回2100円 これはフッ素をただ塗るだけでなく
効果を最大限に高めるため
研磨・歯間等注入・トレー法等の
トータルの施術料です。

- ★ I. II. を併用することもできます。
- ★ トータルクリーニングという方法でもフッ素塗布が出来ます。

- III. ジェル・歯磨材 ジェルは年齢によってフッ素含有量の違うものを
揃えています。歯磨材と比べ研磨剤等が
入っていないため、効果は得られやすいです。
歯磨材は市販のものでも含有量は同じです。
ただ他の成分との相殺作用を考えると、歯科医院の
もののほうが効果は高くなります。



- IV. スプレー法 当院では現在扱っておりませんが、うがいの
出来ないお子様にお勧めしています。

いかがでしたか？

このような理由から、当院では患者さんの歯の健康維持のためフッ素を取り入れています。

この他に、**シーラント**という歯の溝を埋める方法もあります。これは歯が生えたてのお子様の歯をむし歯になりやすくしさらにフッ素も取り込めるといふものです。



詳しくは院長をはじめスタッフにお気軽におたずね下さい。

